



近年のX線検査・治療システムには高い操作性に加え、広いワーキングスペースを必要とされています。同時に、貴重な臨床画像・生体画像などの画像情報を表示するディスプレイを臨床シーンに応じてセッティングするためのモニター懸垂装置の重要性が増しています。オートシステムは長年、臨床現場にモニター懸垂装置を提供してまいりましたが、今日のモニター懸垂装置は機動性・安全性は勿論今後予想される表示ディスプレイなどの大型化や多彩なアレンジメントにも対応しなくてはなりません。「AS-MTN **Trabant Series**」は、これら臨床現場のニーズに応えるために基本性能から見直し進化させたモニター懸垂装置です。



Photo スタータスビュー(AS-MTN-SV)とサイドグリップ(AS-MTN-SG)はオプションです。カラーは標準色、画像はイメージです。

標準機能

今後ますます大型化・多様化するディスプレイシステムを確実にセッティングするための機能を装備しています。



オフロックスイッチ

操作時

ワンタッチグリップ グリップ部に前後・左右の移動レールのオフロックスイッチツマミを配置しました。自然な握りで操作が行えます。

■ティルト機構

モニター取付け部に、上下又は左右の何れかのティルト機構を備えています。縦2段や横3列のモニター構成に有用です。

Photo:縦2段
■揺動するモニターによりティルト機構が取付けできない場合があります。

■選べるラインカラー

アームのラインカラーを3色の中からお選び頂けます。アーム全体をスタイリッシュに見せることにも、X線システムとの一体感を演出します。

- AS-MTN マリンブルー
- AS-MTN ライトイエロー
- AS-MTN ライトブルー

■アクセサリカバー

モニター背面を覆うカバーです。ケーブルや機材が密集するモニター背面をスッキリと見せます。

オプション

臨床シーンを手助けするための豊富なオプションを用意しています。



■ステータスビュー(AS-MTN-SV)

X線システム本体からの信号によりLEDを点灯します。広い視野角度を持っているので、検査・治療中にどのポジションからでも容易に確認できます。X線システム電源投入時は緑色に、X線照射中には黄色に点灯します。

■X線システム本体との信号形態により接続できない場合があります。
■特許出願中

■サイドグリップ(AS-MTN-SG)

モニター側面に配置するグリップです。モニターセッティング時にサイドグリップを握ることで目的のポジションに確実に移動できます。従来のように、モニター背面を触ることが無いので傷や汚れが付く心配もありません。カラーはマリンブルー、ライトイエロー、ライトブルー、からお選びいただけます。



未装着時

装着時

■モニターの配置や構成により装着できない場合があります。
■本製品は、接触時のモニターの破損を防止するためではありません。



■ケーブルキャリア(AS-MTN-CC)

ケーブルキャリア方式は、チェーン状になった可動体にケーブルを配置することで、移動に伴うねじれや引張りなどのストレスからケーブルを守ります。また、従来のカーテン方式に比べ天井下をスッキリと見せます。

その他オプション

その他にも、目的・用途に応じて豊富なオプションを用意しています。

- 左右動延長(ストローク S=3,400mm)
- インターロックスイッチ
- 移動ベース(キャリアユニット)
- 吸設ボルト対応
- エクステンションアーム(F-Type限定)
- ハイブリッドポジショニング

多彩なバリエーション

多彩なモニター懸垂バリエーションを用意しています。



型式の見方

AS-MTN-①②③→モニター総台数(*1)
モニター段数(*1)
S=1方向移動タイプ
W=2方向移動タイプ
F=天井固定タイプ
H=壁固定タイプ

(*1)大画面モニター搭載時、②③の項はMMとなります。